



会報

No.27

2012年1月1日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号

発行責任者／菅原敏郎
電話 (03) 3267-4826

ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

企業のアジア進出で思うこと

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

2011年は3月に東日本大震災が発生、秋にはタイの大洪水が起こるなど、企業によるリスク管理、危機管理があらためて問われた年であった。とくに日本企業の事業継続面ではサプライチェーン（供給網）の切断リスクにどう対応するかが大きな課題となって浮かび上がった。

サプライチェーンは、原材料の確保から最終の消費者に至る、開発、調達、製造、配送、販売など全活動のつながりを一般に指す。震災や洪水によって資材や部品の供給が受けられなくなるとこれを使う完成品メーカーなどの製造ラインを止めざるをえなくなる。そこで企業は日頃から、サプライチェーンの切断が起こったとしても影響を最小限にとどめ1日も早くその修復がはかれるようBCP（事業継続計画）を策定しておく必要がある。

リスク管理の基本はリスクの分散である。日本は地震や自然災害の多い国であるから、日本国内で生産拠点や資材、部品の調達先を分散してもあまり有効とはいえない。グローバルにこれらを分散するのがよいことになるが、分散先は日本における非常事態を想定すると遠隔地でないほうがよい。いきおい東アジアの国や地域、なかでも中国、韓国、台湾などが中心になる。現に震災後の超円高傾向や電力供給不安を受けM&Aによって現地企業を買収するなどして生産拠点をアジアの国、地域に移す動きが中堅、中小企業のなかにも目立ってきた。

日本の産業の「空洞化」を懸念させるほどかつてなかった規模のアジア進出ブームの到来といってもよいが、アジアの国や地域には、日本にはない自然災害リスクや地政学的リスクがある。日本企業が低い労働コストによる労働集約型の生産拠点をつくろうとさかんに中国に進出した時期があったが、近年は、沿海部を中心に賃金水準が上昇し、格差是正を訴えて工場でストライキが起こるなどいわゆるチャイナリスクが顕在化してきた。こうしたリスクを避けかつ分散する目的で「チャイナプラスワン」の進出先をタイやベトナムなどに求めるなかで、今回タイの大洪水の被害にも遭った日本企業が多くあったという。何百年に一度の災害が短期間に広い地域で起こったのか、それとも何十年か前にも同じような規模の大洪水があったのではないかと。今回の大洪水による事態も予め想定したうえで、同じ工業団地内に複数のサプライチェーンの担い手が集中しないようにするなどのリスク管理、危機管理の必要がなかったかについて再検討すべきであろう。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月23日（日）実施の〈第25回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたので、発表いたします。

●金融コンプライアンス・オフィサー 1 級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数1,171名中受験者は926名で、認定者は281名でした。認定率は30.35%、平均点は53.22点で、前回並の結果となりました。今回の業態別結果としましては、受験者の最も多い信金の認定率の低さが目立ちます。

問題では、〔問題-3〕融資予約、〔問題-5〕損失補てん、〔問題-6〕金商法38条の禁止行為、〔問題-9〕法定後見制度の4問が低調でした。

特に、〔問題-3〕と〔問題-9〕は3点台の平均点となりました。〔問題-3〕は、融資予約（あるいは諾成的金銭消費貸借）が成立していることを前提として解答を求めましたが、これに触れることなく、たんに融資契約は不成立とするもの、融資証明書の不発行により融資拒絶ができるとするもの、信用不安の噂は拒絶事由にあたるとする解答が多く、また初出ということもあり低調な結果となりました。

〔問題-9〕は、成年後見のうち法定後見についての記述を求めるものでしたが、任意後見制度、未成年後見制度を記述する受験者が多く、これも低調な結果となりました。成年後見←→未成年後見、法定後見←→任意後見が対となる概念であることを銘記してほしいところです。

全体としては、個々の問題につきその問題点の整理がなされておらず、知っていることを冗長に記述する答案が目立ちました。過去の解答例だけを覚えるだけではなく、法律構造とそれに伴う実務の取扱い等立体的な理解が求められます。

●金融コンプライアンス・オフィサー 2 級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数7,708名中受験者は6,959名で、認定者は4,771名でした。認定率は68.56%、平

均点65.10点で、目標値に近い認定率となりました。認定率を下回った業態は、第二地銀（67%）、信金（67%）、信組（49%）、信連・農協（54%）でした。

正答率が30%を下回った問題は、前回より3問増加し、〔問-1〕金融機関におけるコンプライアンス、〔問-14〕使用者責任、〔問-24〕銀行代理業、〔問-25〕優越的地位の濫用の4問となりました。

〔問-1〕は従来から出題しているテーマであり、かつ事前調整的な裁量行政から事後チェック型行政に転換されていることは検査マニュアルの最重要項目であり、学習不足を感じます。〔問-14〕は今回一步踏み込み、使用者の過失は被用者の選任・監督についてであることがポイントでしたが、初出ということからか、また〔問-24〕についても出題頻度が少なかったことからか、ともに低調でした。

●保険コンプライアンス・オフィサー 2 級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,121名、受験者数965名、認定者数815名で、前回に比べ52ポイント増加し認定率84.46%という予想外の好結果となりました。

前回と今回を比べてみると30%以下の問題が〔問-3〕内部通報者、〔問-4〕非公開情報保護措置、〔問-24〕延長保険・払済保険の3問と、前回より4問減少していました。また、全体的に正答率が高いこともあり、今回の結果となったといえます。

〔問-3〕については、通報者から周知者への確認要請があったとしても確認義務は規定されておらず、また、その取扱いには慎重な対応が求められます。〔問-4〕の非公開金融情報保護措置については、ある程度の知識は推測できますが、保険募集に係る業務について保護措置が採られていることについては理解不足を感じます。〔問-24〕の払済保険・延長保険とも解約返戻金を利用する点を理解していれば容易に解けるもので、これも理解不足を感じます。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー1級・業態別成績一覧表

| | 都特銀 | 地銀 | 信託 | 第二地銀 | 信金 | 信組 | 信連協 | 労金 | 生保損保 | 証券 | 郵政 | 他団体個人 | 全体 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|
| 応募者数(名) | 18 | 358 | 82 | 104 | 327 | 41 | 49 | 22 | 9 | 0 | 46 | 115 | 1,171 |
| 応募比率(%) | 1.54 | 30.57 | 7.00 | 8.88 | 27.92 | 3.50 | 4.18 | 1.88 | 0.77 | 0.00 | 3.93 | 9.82 | 100.00 |
| 受験者数(名) | 14 | 276 | 59 | 86 | 278 | 36 | 37 | 16 | 5 | 0 | 44 | 75 | 926 |
| 受験率(%) | 77.78 | 77.09 | 71.95 | 82.69 | 85.02 | 87.80 | 75.51 | 72.73 | 55.56 | 0.00 | 95.65 | 65.22 | 79.08 |
| 認定者数(名) | 6 | 93 | 33 | 21 | 48 | 10 | 13 | 5 | 3 | 0 | 14 | 35 | 281 |
| 認定率(%) | 42.86 | 33.70 | 55.93 | 24.42 | 17.27 | 27.78 | 35.14 | 31.25 | 60.00 | 0.00 | 31.82 | 46.67 | 30.35 |
| 平均点(点) | 55.14 | 54.16 | 57.08 | 53.58 | 50.15 | 52.03 | 52.27 | 54.25 | 60.80 | 0.00 | 53.95 | 57.17 | 53.22 |
| 年齢(歳) | 45.5 | 37.9 | 39.6 | 43.5 | 43.7 | 42.3 | 44.7 | 37.8 | 41.8 | 0.0 | 50.8 | 42.6 | 41.9 |
| 勤続年数(年) | 20.5 | 14.5 | 16.7 | 20.0 | 21.3 | 16.3 | 21.5 | 14.9 | 17.0 | 0.0 | 21.6 | 17.1 | 18.2 |

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

| | 都特銀 | 地銀 | 信託 | 第二地銀 | 信金 | 信組 | 信連協 | 労金 | 生保損保 | 証券 | 郵政 | 他団体個人 | 全体 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 応募者数(名) | 460 | 1,563 | 388 | 574 | 1,543 | 788 | 1,504 | 132 | 22 | 3 | 23 | 708 | 7,708 |
| 応募比率(%) | 5.97 | 20.28 | 5.03 | 7.45 | 20.02 | 10.22 | 19.51 | 1.71 | 0.29 | 0.04 | 0.30 | 9.19 | 100.00 |
| 受験者数(名) | 418 | 1,386 | 348 | 522 | 1,405 | 705 | 1,403 | 121 | 19 | 2 | 23 | 607 | 6,959 |
| 受験率(%) | 90.87 | 88.68 | 89.69 | 90.94 | 91.06 | 89.47 | 93.28 | 91.67 | 86.36 | 66.67 | 100.00 | 85.73 | 90.28 |
| 認定者数(名) | 381 | 1,050 | 319 | 350 | 943 | 349 | 760 | 97 | 15 | 2 | 20 | 485 | 4,771 |
| 認定率(%) | 91.15 | 75.76 | 91.67 | 67.05 | 67.12 | 49.50 | 54.17 | 80.17 | 78.95 | 100.00 | 86.96 | 79.90 | 68.56 |
| 平均点(点) | 72.44 | 67.32 | 74.41 | 64.01 | 64.22 | 59.42 | 60.60 | 67.95 | 68.74 | 80.00 | 72.61 | 68.58 | 65.10 |
| 年齢(歳) | 3.8 | 32.1 | 31.5 | 33.6 | 33.6 | 33.6 | 37.9 | 34.0 | 40.7 | 39.0 | 50.2 | 35.2 | 34.4 |
| 勤続年数(年) | 12.3 | 8.8 | 8.2 | 6.3 | 10.7 | 10.9 | 14.7 | 9.7 | 19.3 | 16.0 | 24.5 | 10.9 | 10.8 |

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー2級・業態別成績一覧表

| | 都特銀 | 地銀 | 信託 | 第二地銀 | 信金 | 信組 | 信連協 | 労金 | 生保損保 | 証券 | 郵政 | 他団体個人 | 全体 |
|---------|------|-------|------|-------|-------|--------|-------|------|-------|------|--------|-------|--------|
| 応募者数(名) | 0 | 71 | 0 | 9 | 72 | 13 | 159 | 0 | 469 | 0 | 29 | 299 | 1,121 |
| 応募比率(%) | 0.00 | 6.33 | 0.00 | 0.80 | 6.42 | 1.16 | 14.18 | 0.00 | 41.84 | 0.00 | 2.59 | 26.67 | 100.00 |
| 受験者数(名) | 0 | 63 | 0 | 5 | 69 | 13 | 139 | 0 | 390 | 0 | 29 | 257 | 965 |
| 受験率(%) | 0.00 | 88.73 | 0.00 | 55.56 | 95.83 | 100.00 | 87.42 | 0.00 | 83.16 | 0.00 | 100.00 | 85.95 | 86.08 |
| 認定者数(名) | 0 | 56 | 0 | 3 | 48 | 6 | 90 | 0 | 358 | 0 | 25 | 229 | 815 |
| 認定率(%) | 0.00 | 88.89 | 0.00 | 60.00 | 69.57 | 46.15 | 64.75 | 0.00 | 91.79 | 0.00 | 86.21 | 89.11 | 84.46 |
| 平均点(点) | 0.00 | 70.73 | 0.00 | 61.20 | 64.26 | 61.08 | 63.40 | 0.00 | 73.68 | 0.00 | 72.14 | 72.17 | 70.65 |
| 年齢(歳) | 0.0 | 37.1 | 0.0 | 40.0 | 41.4 | 38.1 | 35.7 | 0.0 | 40.2 | 0.0 | 43.7 | 42.7 | 40.2 |
| 勤続年数(年) | 0.0 | 14.6 | 0.0 | 16.8 | 18.4 | 15.3 | 12.8 | 0.0 | 17.2 | 0.0 | 15.0 | 17.3 | 16.4 |

*認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

「保険コンプライアンス・オフィサー」新認定委員長

大塚 英明 氏 ご就任



前回まで試験開始当初から認定委員長にご就任いただいております坂口光男先生のご逝去に伴い、「保険コンプライアンス・オフィサー」認定試験の委員長には、大塚英明先生にご就任いただくことになりました。

大塚先生は、昭和31年のお生まれで、早稲田大学法学部をご卒業され、早稲田大学大学院法学研究科を経て、昭和55年法学部助教授、昭和60年同部教授、平成16年早稲田大学大学院法務研究科教授に就任され、現在、日本保険学会理事も務められています。

著書に、「コンメンタル新相互会社法」（監修。青林書院）、「損害保険代理店委託契約書コンメンタル（上・中・下）」（共著。保険教育出版社）、「商法総則・商行為」（共著。有斐閣）、「法の世界へ」（共著。有斐閣）、「保険法判例百選」（共著。有斐閣）、新基本法コンメンタル「会社法2」（共著。日本評論社）等があり、そのほか論文を多数執筆されています。

大学院では、商法応用演習、保険契約法、手形小切手法をご担当し、お忙しい毎日のご様子です。

以前、雨の日に颯爽とバイクで当社にお見えになり、精悍な印象を受けましたが、バイクが趣味で、休みになるとツーリングにお出かけになり、全国ほぼ制覇なさっているようで、その時の印象どおりのお人柄です。

〔2012年6月実施〕

コンプライアンス・オフィサー / 個人情報保護オフィサー認定試験のご案内

〔コンプライアンス・オフィサー認定試験〕

| 実施日 | 受付期間 | 実施種目 | 出題形式 | 実施時間 | 受験料 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------|--------|-----------------------|----------------|
| 第26回 2012年 6月3日(日) | 2012年 4月2日(月) ～4月19日(木) 必着 | 金融コンプライアンス・オフィサー1級 | 事例付記述式 | 13:30～16:30 (180分) | 6,300円 (税込) |
| | | 金融コンプライアンス・オフィサー2級 | 四択択一式 | 10:00～12:30 (150分) | 4,200円 (税込) |

〔個人情報保護オフィサー認定試験〕

| 実施日 | 受付期間 | 実施種目 | 出題形式 | 実施時間 | 受験料 |
|---------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------|
| 第13回 2012年 6月3日(日) | 2012年 4月2日(月) ～4月19日(木) 必着 | 金融個人情報保護 オフィサー2級 | 三択択一式/ 事例付記述式 | 10:00～12:30 (150分) | 4,200円 (税込) |